

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能事業所 つむぎの家		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 1日		令和7年 12月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 8人
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 4日		令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数) 12人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用児が毎日楽しく通所できている	・朝の会や集団活動(音楽活動、読み聞かせ、運動・体操活動等)が充実しており、子ども達に通所することが楽しく思っていたけように取り組んでいる	・保護者の方や関わっている関係機関と連絡を取り合い、子どもがどんな遊びや活動が好きなどを聞き、活動に取り入れて行けるようにする
2	・こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されている ・日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況など、保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮ができています	・送迎時に直接連絡を取り合ったり、連絡ノートを活用して子どもの健康状態や発達状況などの伝達をしている	・連絡ノートだけでなく、LINEなど様々な連絡手段を活用し、より保護者の方と密な情報伝達ができるように努める
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母の会や保護者会等、保護者同士が交流を持てる場がない	・子ども達が利用する分には十分スペースと広さがあるが、保護者も一緒となると部屋のスペースが少なく、駐車場も狭いため事業所での開催は難しい	・地域の公民館は部屋を借りることができ、駐車場や部屋のスペースも十分ある為、保護者会や保護者も一緒に参加できるイベント等は公民館を借りて実施していくことを検討する
2	・地域の人と交流する機会が少ない ・児童館、放課後クラブ等の交流することがない	・当事業所はバギーや車いすに乗っている子が多く、車での移動も限りがあるため、参加は難しいと感じている	・地域の人とは散歩や近くの公園に出かけた時に交流が出来ているので今後も続けていく。 ・児童館や放課後クラブは近くで交流を図れる場所を探し、今後実施していく
3	・ペアレントトレーニングや保護者の方への研修する機会がない	・子育てに関する助言やアドバイス等はモニタリングや相談を受けた時等に都度行っているが、研修は行っていない	・研修などをできる準備を行い、今後実施していけるようにする。また開催する際は保護者の方に早めに連絡をする